自主防災だより

No.35

平成22年4月発行　佐世保市消防局　防災対策課
電話23-9258

自主防災組織結成

①「自主防災組織」とは？

自主防災組織とは、住民一人ひとりが「自分たちの命は自分たちで守る。」また、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という考えのもとに、地域の人々が連絡し、協力し合って、自主的に防災活動を行う組織です。

②「自主防災組織」がなぜ必要か？

火災や災害が発生したとき、消防などの防災関係機関が現場に到着するまでに時間がかかるとき、または、道路の損壊などで現場に到着できないとき、地域の人々の活動が唯一の力となります。

その時、個人の力には限界があり、組織として集約された力が大変有効となり、被害を最小限に止めることにもつながります。

また、各家庭の人員や身体の具合など地域の実情を把握しているのは、地域の方々にほかなりません。

このようなことから、災害に強い安心して住める地域づくりには「自主防災組織」が必要なのです。

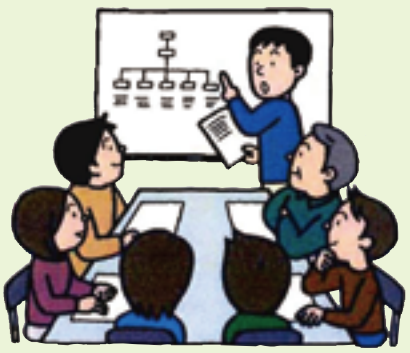
③自主防災組織各班の役割（役割の例）

○総務班：防災関係機関との連絡調整・各班の調整、指導
○情報班：災害情報の収集及び伝達・避難勧告・指示等の伝達
○消火班：初期消火活動・出火防止の呼びかけ・防災関係機関への協力
○救急救護班：災害初期の負傷者救出活動及び応急手当・防災関係機関への協力
○避難誘導班：避難所の指示及び誘導・災害時要援護者の避難介助・避難所運営の協力
○給食給水班：炊き出し等の給食・給水活動の実施・救助物資の受け入れ、配給

④本市の支援状況（簡易防災用品の支給）

自主防災組織の結成にあたり、活動を支援するために簡易的な防災用品（防災ラジオ、ハンドメガホン、防火バケツ、防水シート、トラロープ、スコップ、土のう袋）の支給制度を設けています。

組織の世帯数	防災用品金額
99世帯以下	15,000円以内
100世帯～599世帯	20,000円以内
600世帯～999世帯	25,000円以内
1,000世帯以上	30,000円以内



お問い合わせ

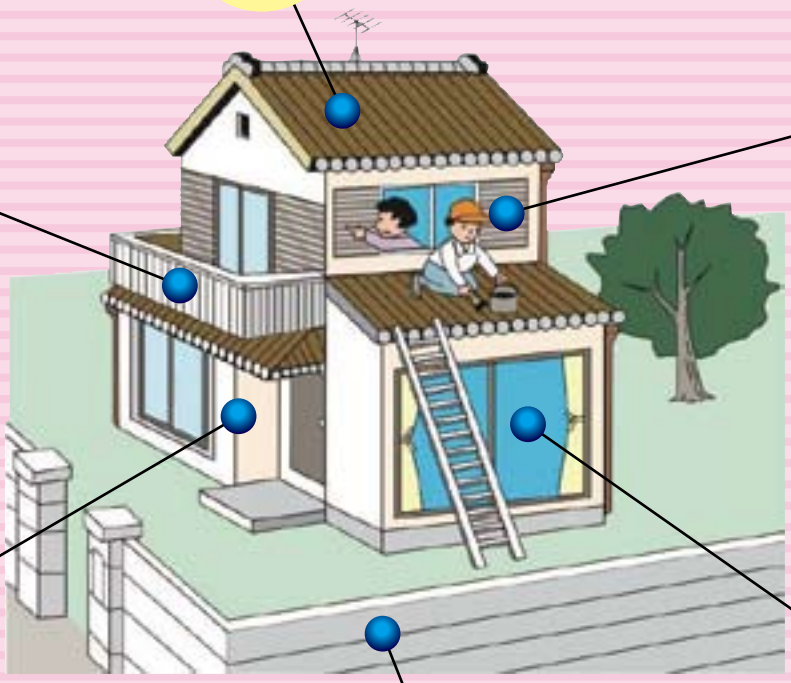
佐世保市平瀬町9-2　消防局 防災対策課　TEL23-9258

わが家の 風水害対策

台風・大雨・強風…。あなたの家の風水害対策は大丈夫ですか。
家の中や周囲をしっかりとチェックしましょう。

家の内外の風水害対策

屋外



屋根

- 瓦のひび、割れ、ずれ、はがれはないかを確認する。
- トタンのめくれ・はがれはないかを確認する。

ベランダ

- 鉢植えや、物干し竿など、飛散の危険が高いものは室内へ移動する。

雨どい 雨戸

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないかを確認する。継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないかを確認する。
- 雨戸にがたつきやゆるみはないかを確認する。

外壁

- モルタルの壁に亀裂がないかを確認する。
- 板壁に腐りや浮きはないかを確認する。
- プロパンガスのボンベは固定されているかを確認する。

ブロック塀

- ひび割れや破損箇所はないかを確認する。

窓ガラス

- ひび割れ、窓枠のがたつきはないか。また、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置をする。

屋内

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をする。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をする。
- テレビ、ラジオ等の大雨・台風情報を注意深く聞く。
- むやみに外出しない。
- 断水などの恐れがあるため、飲料水を確保しておく。
- 浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品・衣類・寝具などの生活用品を高い場所へ移動する。
- 病人や乳幼児、身体の不自由な人などを安全な場所へ移動させる。

平成21年6月1日は既に過ぎています。

住宅用火災警報器の設置にご協力を!!

平成21年6月1日が既に経過していることから、現在設置されていない住宅は**法律違反の状態**ということになります。

～住宅用火災警報器の購入から設置まで～

【火災から尊い命を守るため】

ステップ1

自分の家の必要個数を考えよう!

◎設置しなければならないのは、**寝室**と寝室がある階の**階段**部分です。平屋建ては寝室の数、2階建ては寝室の数と**階段**の数となります。**台所**は義務ではありませんが出火する可能性が一番高いので設置するよう努めましょう。

◎その他3階建てなど特別な場合は消防署へお問い合わせ下さい。

ステップ2

販売店へ行ってみるか、販売事業所に連絡してみましょう!

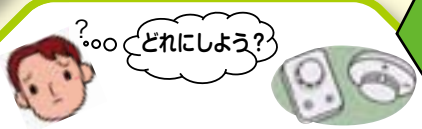
◎考えるよりまず販売店へ出かけましょう。

◎電気店、大型店舗その他色んな事業所で販売されています。

◎販売店等は消防局へ登録していますのでご不明なときは消防署へご連絡を。

悪質な訪問販売に注意!!

ステップ3



次の点に注意して選びましょう。

◎煙式と熱式がありますが煙式を選びます。

◎電池式の場合は電池寿命（ほとんど10年です）を確認します。

◎鑑定済みである「NSマーク」付きを選びます。

ステップ4

取り付けましょう!

◎取付は壁掛け時計と同じで付属の木ねじ等で天井または壁に取付けます。

◎取付位置は天井へは壁から60cm以上、壁へは天井から15cm以上50cm以内の場所に取り付けます。（取扱説明書に記載されています。）

洪水のときはこうして避難

洪水の中を避難する場合は、とくに足元には十分に注意を払いましょう。
子供やお年寄りからは目を離さず、手を引くなどの手助けを忘れずに。

1 はき物

裸足・長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴がよい。

2 ロープでつながって

はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難しよう。とくに子供から目を離さないように。

3 歩ける深さ

歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救援を待とう。

5 子供やお年寄りを安全に

お年寄りや病人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保する。

4 足元に注意

水面下はどんな危険が潜んでいるのかわからない。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩くこと。

風水害でもっとも怖い土砂災害の種類を知ろう!

一瞬にしてすべてを飲み込んでしまう土砂災害は、風水害対策の中で最も注意しなければなりません。
正しい判断をするためにも、正しい知識を身につけましょう。

急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)

がけ崩れは、急な斜面で突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

【前ぶれ】
- ○がけからの水が濁ります
- ○がけに亀裂が入ります
- ○小石がバラバラ落ちてきます
- ○斜面がふくらんでいます
- ○雨水が斜面を流れて溝ができます
- ○雨の日に斜面の方から大きな音がします

土石流危険渓流

土石流は、谷筋でおきますので、土砂などが水といっしょに流れ下り、速く大きな破壊力を持っています。

【前ぶれ】
- ○地面にひび割れができます
- ○沢や井戸の水が濁ります
- ○斜面から水がふき出します

地すべり危険箇所

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動きだしますので、被害は緩やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

【前ぶれ】
- ○山鳴りがします
- ○雨が降り続いているのに川の水位が下がります
- ○かわの流れが濁ったり流木が混ざり始めます